

月の沙漠と加藤まさを

加藤まさをは、大正中期より昭和前期にかけて、一世を風びたみずみずしい抒情画の数々を発表し、一時代をきづくとともに、大正12年に発表した「月の沙漠」は、御宿海岸がその舞台となりました。



このことを永遠に記念するため、昭和44年7月6日 美しい御宿の砂丘に、「月の沙漠記念像」が建てられ、この時以来、月の沙漠の発祥地御宿の名は全国に知られるようになりました。

以来、月の沙漠記念像は、多くの人々に愛され、月の沙漠の御宿として、町発展の基盤となり、大正ロマンをほうふつさせる文化遺産として、また観光御宿の知名度の向上と飛躍の原動力となりました。

月の沙漠は、童謡の名曲として、子供から大人まで、いつの時代にも愛され、歌いつがれてきました。平成元年、NHKが行った「ふるさとの歌100選」で千葉県で第1位、全国でも第5位に選ばれ、今もなお、人々の心を魅了しています。

加藤まさをは、同年代に活躍した竹久夢二、^{ふきや こうじ} 落谷虹児、^{たかぼたけしやう} 高島華宵らと並ぶ抒情画家であり、抒情詩人ですが、抒情画のほかに、詩あり、童謡あり、小説・歌謡曲などその創作は多彩を極め、数多くの作品を残しています。

加藤まさを略年譜

- 1897年(明治30年)4月、静岡県藤枝市に生まれる。本名正男。父は浦和中学の教師。
- 1916年(大正5年) 東京、芝の高輪中学から立教大学英文科に進学。
- 1920年(大正9年)5月、童謡画集「カナリヤの囀」(岩波書店)を出版。
- 1921年(大正10年) 立教大学を卒業。童謡画集「合歓の揺籃」(内田老鶴園)を出版。
- 1923年(大正12年)「少女倶楽部」3月号に「月の沙漠」を発表。7月、童謡画集「人形の墓」を出版。この頃より「令女界」「少女倶楽部」「少女画報」などの口絵や挿画、また詩や小説などで活躍。
- 1926年(大正15年)7月、小説集「遠い蕾」を出版。11月、「まさを抒情詩集」を出版。
- 1927年(昭和2年)1月、小説集「愛の哀しみ」を出版。この頃からよく西條八十の詩集の挿画を描く。
- 1929年(昭和4年)1月、「抒情小曲集」、9月、小説集「消えゆく虹」を出版。
- 1935年(昭和10年)10月、「名作挿画全集」第5巻(平凡社)に「消えゆく虹」の挿画、抒情詩と挿画が掲載される。
- 1936年(昭和11年)3月、「名作挿画全集」第8巻(平凡社)に、抒情詩と挿画が掲載される。
- 1949年(昭和24年)11月、講談社の絵本「シンデレラ姫」を出版。その後同シリーズの絵本多数を描く。主な作品に「ガリバー旅行記」、「おやゆびトム」、「クリスマス・キャロル」。
- 1969年(昭和44年)7月、限定版の詩集「月の沙漠」(今野書房)を出版。同7月、「月の沙漠」の詩碑と記念像が、この詩の発想をえた地、千葉県御宿に建てられる。
- 1974年(昭和49年) 千葉県岩和田小学校の校歌を作詞、作曲。
- 1976年(昭和51年) 千葉県御宿に移り住む。
- 1977年(昭和52年)11月1日、死去(80歳)



月の沙漠記念像と月の沙漠記念館



月の沙漠記念館

〒299-5104 千葉県夷隅郡御宿町六軒町505-1
 TEL:0470-68-6389 FAX:0470-68-5655
 開館時間●午前9時～午後4時30分(水曜日休館。水曜日が祝日のときは翌日)
 入館料●大人400円・高大生・65歳以上300円・小中生200円
 交通機関●JR外房線御宿駅下車徒歩7分/駐車場●専用駐車場あり/大型バス用駐車場もあり



TUKINOSABAKU MEMORIAL MUSEUM

月の沙漠記念館



歴史とロマンに出会える街…

御宿町
ONJUKU